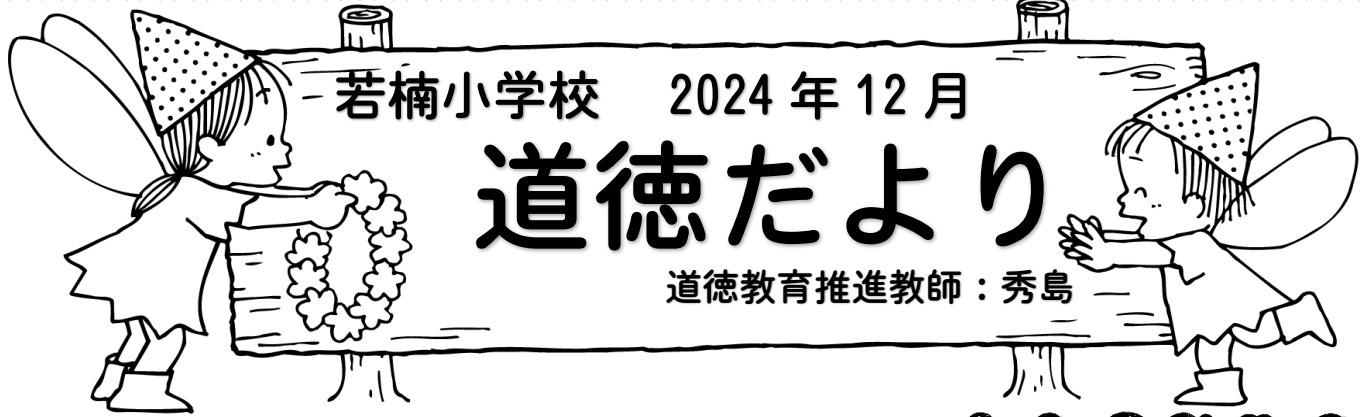




12月1日～いじめ・いのちを考える日～



佐賀市では、“学校で・家庭で・地域で いじめをなくそう みんなの力で!”というコンセプトのもと、毎月1日を「いじめ・いのちを考える日」として設定しています。本校でも、毎学期の始業式には「いじめ0の約束～レインボーさくせん～」の唱和を行い、いじめ防止の意識を高めています。

しかし、子どもたちの言葉によるトラブルが増え、さらにひどい言葉で返したり、足や手が出てしまったりしています。そこで、毎月1日の「いじめ・いのちを考える日」の取り組みを全校で徹底し、心の教育をもっと充実させなければいけないと再確認しました。12月は、「いじめ・いのちを考える日」とフリー参観デーが重なったので、「友だち」や「いじめ」をテーマにした道徳の授業を公開しました。それぞれの学年の授業の様子を紹介します。

1年生 「二わのことり」



「みそさざい」は、「やまがら」から誕生日の招待を受けながら、友達に誘われるまま、「うぐいす」の家へ来てしまいます。しかし寂しく待っているであろう「やまがら」を思い、「やまがら」の家へ行くという内容です。子どもたちは「みそさざい」がなぜ「やまがら」の家に行くことにしたのか考えました。「誕生日は1回しかないから。」「だれも来なかったら悲しいから。」などの意見が出ていました。



【子どもたちの振り返り】

- ・おもいやり算を使えば、どんな友だちでもなかよくなれそうだと思います。
- ・友だちと仲良く過ごすために、思いやりの気持ちをもとうと思いました。



2年生 「つくえふき」



机拭き当番のゆうとさんは、自分と仲良しの友だちの机だけ丁寧に拭いています。かなみさんが、よくないことだと言いますが、私にも「そう思うでしょう。」と聞いてきました。私はよくない気はしますが、はっきりとした理由が思い浮ばず、もやもやした気持ちになっている、という内容でした。子どもたちは、「私」の立場になって、自分だったらゆうとさんにどんなことを言うかを考え、役割演技をしました。「悲しい思いをする人がいるから、ちゃんと丁寧に拭いた方がいいよ。」「ちゃんと拭いてもらえなかった人は、大事にされていないと感じる。」などいろいろな思いが出ていました。



【子どもたちの振り返り】

- ・これからは、人を差別しないで、みんなに優しくして、みんなを笑顔にします。
- ・これからは、分け隔てがないように気をつけます。仲間外れにしないように気をつけます。

3,4年生「分けへだてをしない～だれに対しても同じたいで～」

下記のような4つの場面を提示し、こんなときは、どんなことを言うかを考えました。

①休日に、みんなでドッチボールの大会に出るやくそくをしていたら...



Aさんがいると負けてしまうから、Aさんをさそうのはやめよう。だから、内しよて出よう。

自分がAさんだったらすごく悲しいでしょう。みんなでサッカーした方が楽しいよ。

②Bさんが言ったことだけをみんなが無視しています。

Aさんも、Bさんを無視しようよ。みんなしているから、いいじゃない。



みんながしてるからって、いいことではないよ。自分がされたいやでしょう。

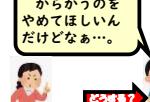
③友だちにこんなことを言われました。



Cさんはわたしの友だちだから、いっしょに帰らないで。

だれとでも仲良くしていいでしょ。みんなと仲良くしないと、友だちがいなくなるかもしれないよ。

④ぼくはいつもDさんからかわれていきます。



先生、ぼくたちはただ二人でふざけ合っていただけです。

君はふざけ合ってるつもりでも、ぼくはからかわれているからやめてほしいよ。

何と云うか、一生懸命書いていましたが、実際に自分がその立場になると、「言えないかもしれない。」という子どもたちもいました。

【子どもたちの振り返り】

- ・どんな人にも優しくすればいじめや分け隔てにはならないと思いました。
- ・分け隔てをしたら友だちを傷つけて、いじめにつながるし、自分もされたいやだから、人のことを考えて話すといいと分かった。
- ・私は、これまで分け隔てをされている友達がいても、次は自分がされると注意することができませんでした。これからは少し勇気を振り絞って注意できたらと思います。



5,6年生「わたしのせいじゃない」



泣いている子がいるのに、みんな「わたしのせいじゃない。」と言っています。言い分は、14人がそれぞれ違うことを言っている、という内容です。「自分には関係ない。」「周りの子が悪い。」「泣いている子が悪い。」など、いじめに対して無責任な気持ちがいじめを生んでいることを考えることができる内容でした。子どもたちは、14人に対して、いろいろな思いを発言していました。いじめは、なかなかなくなりません。いじめをなくすためには、「される側の気持ちを考えること」「相手の意見を受け入れること」「人を見た目だけで判断しないこと」「一人で抱え込まず誰かに相談すること」などが大切だという考えが出ました。真剣に考えたからこそ、その思いを大事にしてほしいです。

【子どもたちの振り返り】

- ・自分は関係ないと思っていても、いじめられた側は、いじめた人も、見ていただけの人もいじめているのと同じだと思っています。いじめは人権が守られていないと思います。私は、みんなに生きる権利があるのだから、みんな、いじめる権利はないと思いました。
- ・僕は人の悪いところを見つけることはできるけど、いいところを見つけることが苦手なので、今日から一人一人のよいところを見つけ、尊重することが大切だと思いました。
- ・僕は今まで、自分が嫌な気持ちになったら人の心を大切にすることが少し欠けてしまって、あおりすぎるころがあるので、これからは、そんな時でも相手の気持ちを考えたいです。